

平成30年度の大月市学校教育指導重点

1 「ふるさと教育の充実」

～人とのふれあいを通して学ぶ→市独自の教育施策の推進～
個性を伸ばし

豊かな人間性を育み

ふるさとを大切にすることを育てるとともに

夢と希望をもって世界に羽ばたく人材を育成する

2 新学習指導要領導入に向けての対応

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向け校内研究等で取り組むとともに「やまなしスタンダード」の実践を進め、教師一人一人の指導力及び学校全体の教育力向上を図り、基礎基本の定着と活用力、学びに向かう力も含めた学力の育成に努める。
- ②外国語科やプログラミング教育を含む ICT 教育充実のために、必要な教育環境を整えるとともに、先進的な取組に学びながら、組織的で実践的な研究を進め、よりよい授業づくりに努める。

3 確かな学力の育成

- ①小中連携に確実に取り組み、児童生徒の情報を共有するとともに、教育課程・指導内容・指導方法について組織的に研究し、子どもの生活力・学力の育成に努める。
- ②特別支援教育の充実に向け、教員間で情報を共有し、必要な知識や配慮等について研修等を通して学び、個に応じた支援が適切に出来るように努める。
- ③学力学習状況調査の結果を分析考察し、子どもの実態把握に努め、個に応じた適切な支援とともに、日常の授業改善に結びつけ、さらなる学力の育成に努める。
- ④家庭学習実践事例集を参考に、小中の教員間で共通理解を図りながら、さらなる家庭学習の充実と定着に努める。

4 豊かな人間性を育む心の育成

- ①子どもが自己存在感を感じる居場所づくりや、望ましい集団づくりを進め、いじめや不登校、暴力行為等のない楽しい学校生活の実現に努める。
- ②幼保小中高の連携を進め、子どもたちの情報を共有し、切れ目のない支援を通して、小1プロブレムや中1ギャップ等の学校不適應の解消に努める。
- ③やまびこ支援学校との「交流学习・交流活動」の機会を積極的に設け、障害のある子どもたちとの交流を通して共育・共生の心の育成に努める。